

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年8月9日

上場会社名 林兼産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 2286 URL <https://www.hayashikane.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中部 哲二
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部総務部長 (氏名) 目 守正 (TEL) 083-266-0210
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	11,392	3.1	△99	—	23	△93.8	△18	—
2024年3月期第1四半期	11,054	18.7	280	—	373	445.8	285	433.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 167百万円(△63.7%) 2024年3月期第1四半期 462百万円(363.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△2.10	—
2024年3月期第1四半期	32.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	29,742	11,131	37.4
2024年3月期	29,043	11,093	38.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 11,131百万円 2024年3月期 11,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	△2.9	700	0.2	900	△1.5	650	△13.2	75.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	8,910,000株	2024年3月期	8,910,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	278,585株	2024年3月期	278,585株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	8,631,415株	2024年3月期1Q	8,822,157株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載していましたが、当第 1 四半期連結会計期間及び当第 1 四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第 1 四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、経済の正常化が進み、景気は緩やかに持ち直しております。しかしながら、食品業界におきましては、円安による原材料価格やエネルギーコストの高騰など、依然として先行き不透明な厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループではHayashikaneだからできる『生きる力』のジャンルトップを目指し「中期経営計画Challenge2026」(2025年3月期～2026年3月期)を策定いたしました。これまでの中期経営計画の成果を基に「新たな構造改革」と称して、資本コストを意識した経営実現、収益構造の見直し、生産体制および設備の最適化、安定配当の継続、将来に向けての投資等を実行してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するために行った飼料の価格改定および養魚用飼料の海外向け販売数量が増加したことにより113億92百万円(前年同期比3.1%増加)となりました。損益面におきましては、自社ブランド「霧島黒豚」の子会社農場における肥育成績の悪化等により、営業損失は99百万円(前年同期は2億80百万円の営業利益)、経常利益は23百万円(前年同期比93.8%減少)、親会社株主に帰属する四半期純損失は18百万円(前年同期は2億85百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①食品事業

食品事業におきましては、収益性を重視した取引に努め、販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は53億69百万円(前年同期比2.9%減少)となりました。損益面におきましては、「霧島黒豚」の農場肥育成績の悪化等により、セグメント損失(営業損失)は39百万円(前年同期は3億14百万円のセグメント利益)となりました。

②飼料事業

飼料事業におきましては、原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応した価格改定および養魚用飼料の海外向け販売数量が増加したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は60億12百万円(前年同期比9.1%増加)となりました。損益面におきましては、水産物の利益率低下などにより、セグメント利益(営業利益)は2億円(前年同期比20.0%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は297億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億98百万円増加しました。流動資産の増加(前連結会計年度末比5億66百万円増加)は、主に現金及び預金が9億48百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が11億6百万円、原材料及び貯蔵品が6億14百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の増加(前連結会計年度末比1億32百万円増加)は、主に投資有価証券が2億63百万円増加したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は186億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億60百万円増加しました。流動負債の増加（前連結会計年度末比7億34百万円増加）は、主に未払法人税等が2億40百万円減少したものの、買掛金が9億45百万円増加したことなどによるものであり、固定負債の減少（前連結会計年度末比74百万円減少）は、主にその他に含まれるリース債務が41百万円減少したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は111億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円増加しました。これは主に配当金の支払いによる利益剰余金の減少が1億29百万円あったものの、その他有価証券評価差額金が1億76百万円増加したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は37.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国際情勢を背景とした原材料価格やエネルギーコストの高騰、為替相場リスクや海外景気の下振れなど、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くと考えられます。

こうしたなか、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は子会社農場成績の悪化等もあり四半期純損失を計上したものの、原材料価格高騰の影響は業績予想に織り込み済みであり、価格改定等の取り組みも当初計画どおりに進んでおります。今後も価格改定や農場成績の改善を見込んでいることから、2024年5月15日に発表した通期の業績予想に修正はありません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,511	1,563
受取手形及び売掛金	6,030	7,136
商品及び製品	2,203	2,434
仕掛品	2,320	2,174
原材料及び貯蔵品	1,784	2,399
その他	817	525
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	15,666	16,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,759	2,737
土地	3,002	3,002
その他(純額)	2,456	2,428
有形固定資産合計	8,217	8,168
無形固定資産		
	102	100
投資その他の資産		
投資有価証券	4,491	4,755
その他	1,499	1,414
貸倒引当金	△932	△928
投資その他の資産合計	5,058	5,241
固定資産合計	13,377	13,510
資産合計	29,043	29,742
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,200	5,146
短期借入金	5,914	5,954
未払法人税等	298	57
賞与引当金	177	125
その他	2,287	2,328
流動負債合計	12,878	13,613
固定負債		
長期借入金	1,589	1,574
退職給付に係る負債	1,888	1,869
その他	1,593	1,553
固定負債合計	5,072	4,997
負債合計	17,950	18,610

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415	3,415
資本剰余金	2	2
利益剰余金	6,327	6,179
自己株式	△159	△159
株主資本合計	9,585	9,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,499	1,675
繰延ヘッジ損益	△0	9
退職給付に係る調整累計額	9	8
その他の包括利益累計額合計	1,508	1,694
純資産合計	11,093	11,131
負債純資産合計	29,043	29,742

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	11,054	11,392
売上原価	9,677	10,405
売上総利益	1,376	986
販売費及び一般管理費	1,095	1,085
営業利益又は営業損失(△)	280	△99
営業外収益		
受取配当金	73	70
その他	68	87
営業外収益合計	142	157
営業外費用		
支払利息	28	23
その他	20	11
営業外費用合計	48	35
経常利益	373	23
特別損失		
固定資産除却損	1	1
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	372	22
法人税、住民税及び事業税	139	48
法人税等調整額	△53	△8
法人税等合計	86	40
四半期純利益又は四半期純損失(△)	285	△18
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	285	△18

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	285	△18
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	171	174
繰延ヘッジ損益	3	9
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	2	1
その他の包括利益合計	176	186
四半期包括利益	462	167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	462	167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

〔「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用〕

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,531	5,511	11,043	10	11,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	565	565	—	565
計	5,531	6,076	11,608	10	11,619
セグメント利益	314	250	565	8	573

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	565
「その他」の区分の利益	8
セグメント間取引消去	△29
全社費用(注)	△263
四半期連結損益計算書の営業利益	280

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,369	6,012	11,381	10	11,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	411	411	—	411
計	5,369	6,423	11,793	10	11,803
セグメント利益又は損失(△)	△39	200	161	8	169

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	161
「その他」の区分の利益	8
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△271
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△99

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	172百万円	186百万円